



令和3年度早川南小学校だより 月々

はるき



令和4年3月4日

No.40

校長 河西 弘明



『ありがとう6年生の会』は、全校みんなの思い出に！

今週はにわかには春めいて、道路脇の黒い雪の塊もいつしか消えて、春の足音がはっきりと聞こえてきました。昨日の3校時には、ありコンの代わりに今年だけの企画「ありがとう6年生の会」が、オンラインで行われました。

卒業まで、いよいよカウントダウンに入っている6年生に、下級生がこれまでの感謝の気持ちを表すと同時に、残り少ない6年生との日々思い出を加える素敵な会になりました。ありコンと同じくらい感動的な会でしたので、その様子をお伝えします。



はじめに、新児童会長さんのあいさつから始まりました。会の意義についてと、6年生にお世話になったことへの感謝の言葉を述べていました。続いて、みんなで連想ゲームをしました。お題から連想する言葉をボード書いて、クラスごとに同じ答を書いた人数で競いました。給食のメニューと言えば？…私の答はカレーうどんでしたが、なんとKさんと同じでした！

次に、6年生の今年1年間の様子を、スライドで振り返りました。写真に合わせて、画面越しではありましたが、1～5年生が呼びかけをしてくれて、6年生の頑張った姿と下級生たちからの気持ちのこもった言葉が相まって、涙しそうになりました。呼びかけの最後には、下級生から6年生に、一人一人がしたための寄せ書きをプレゼントしました。

そして次に、ありコンでは恒例の6年生のステージがありました。「ありコンがなくなってショックだったけれど…」というナレーションから始まり、自分たちだけで演奏するはずだった「銀河鉄道999」をBGMに、6人で月旅行に行くという設定の楽しいお芝居を披露してくれました。6年生の仲の良さが、とっても伝わってくるステージでした。6年生からも、下級生全員に、心温まるメッセージを実際に手渡してくれて、1～5年生たちもとても嬉しそうでした。

最後に、みんながありコンで演奏する予定だった曲、「情熱大陸」と「シング・シング・シング」の、東日本大会へ送った収録の演奏を全校で鑑賞しました。演奏は、1年間頑張ってきた成果が表れた演奏で、今年の吹奏楽活動の締めくくりとしてもふさわしかったのではないかと思います。

南小にとって、ありコンは本当にとってもとても大切な催しです。新児童会役員の5年生二人の様子を見ると、すでにバトンを受け取って最上級生になる準備が整っていることが、この会の取り組みを通じてわかりました。6年生も、最後の3週間を、悔いなく突っ走ろうと頑張る決意を見せてくれました。改めてですが、1年間の生活を通してつながれた、本校児童17名の絆が見えた気がしました。私たち教職員も、最後の最後までこの子どもたちのために頑張ろうと、気持ちを新たにしました。

みんなで作り上げた、ありコンに負けないくらい素晴らしい「ありがとう6年生の会」でした。





なんと…『ありがとう6年生の会』には続きがありました…

**教室に戻った6年生を待っていたのは…
超超サプライズの大壁画でした！
下級生たち、やるね！ 校長先生も超びっくり！
みんなて、6年生と一緒に記念写真を撮りました！！**

